

第 31 号

発行：平成 27 年 10 月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：140 名(平成 27 年 9 月末現在)

(家族会員=12 名、個人会員=128 名)

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内

連絡先：電話 0598-56-6847

Fax 0598-56-7328

発行責任者：飯田 秀

初秋に思うこと

役員 田中 恆

蝉の声も日ごとに少なくなり秋も深まるようになりました。

日頃は記念館友の会の活動につきまして、会員の皆様には様々な形でご指導・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

友の会の活動として様々なイベント(友の会研修、他の会との交流会、松阪偉人顕彰団体協議会等)に参加させていただき、益々活動の意欲が増してまいりました。

9 月に入り自然災害は想像を超える被害のものが多く、雲出川の近くに生活するものとして、もう一度非常時に備えることを考えなくては・・・と思っています。

さて、友の会については、まだ仕事を持ちながらの役員活動で、充分なお役に立てず他の役員の方々には申し訳なくと思っています。

来年の伊勢志摩サミットで三重県が注目されている今松阪の魅力をアピールし、活力のある町づくりとして武四郎記念館もその一部になるのでは・・・と期待しています。

早いもので 60 歳で友の会に入会して 6 年が経ちました。まだまだ勉強不足ですが、生まれ育った町の歴史等々にこれからも皆様に教えていただいて勉強していきたいと思っておりますのでご指導をお願いいたします。



市政バスツアー報告

恒例となった松阪市内の施設を巡り学ぶバス旅行は、当初 9 月 9 日(水)を予定していましたがあいにく台風 18 号が接近するとの予報の為、18 日(金)に延期となり 31 名の参加で好天のもと実施しました。記念館を出発し、嬉野ふるさと会館・考古館、第一水源地、松阪市クリーンセンターを見学しました。

松阪市広報・広聴課始め、各施設の方々にはお世話になり有難うございました。お蔭で参加者にとって市の施設が身近なものとなると共に、市政への理解が深まったと思います。参加された中島宣子さんと山本隆子さんに感想文をいただきました。



嬉野ふるさと会館



松阪市第一水源地



松阪市クリーンセンター

市政バスツアーに参加して

一般 中島宣子

好天に恵まれた秋の一日、市政バスツアーによる公共施設(嬉野ふるさと会館、第一水源地、松阪市クリーンセンター)の見学に参加して何れも日常生活に欠かせない大切な施設であり、担当の方が熱心に説明していただき、普段何気なく過ごしている生活にも、その裏には大変な努力をいただいている方がおられることを再認識しました。

日頃、設備の運営管理に従事されている皆様に心より感謝申し上げます。

公共の施設も多くあり、機会があれば、友の会が計画される次のツアーにも是非参加したいと思っています。

市政バスツアーに参加して

一般 山本隆子

2, 3日降り続いた雨もあがり、秋晴れの9月18日の朝を迎え、参加者31名が市政バスにて出発しました。始めは「嬉野ふるさと会館」で、普段私たちが入館させていただく時はコンサートや発表会などで、ただ呆然と終われば帰ってくるのがふるさと会館でございました。しかし楽屋裏に入れていただく事が出来、とても大きな照明の数、私達まで温かさが感じられました。照明の上げ下げはおもりを利用してロープを引きながらの手動式。又、舞台から見た客席の広さ、温度と湿度が一定された部屋では高額のパianoなどに感銘しました

又、2階の考古館では、埴輪・土器について学芸員から詳しく説明を聞き多くのことを学ぶことが出来ました。



第一水源地

次は彼岸花の咲いた赤い畦道を眺めながら、豊原町の第一水源地へ行き、スライドを眺めながら、川水と地下水が汲み上げられてから、幾つかの工程を経て、次亜塩素と云う薬品を入れて消毒した綺麗な水を我々松阪市民に供給されていることが良く分かりました。

次は、私が一番期待していた今年4月に新装された「松阪市クリーンセンター」です。どんな大きな規模なのか、どんな所でどの様に私たちの家庭ゴミが処理されているか楽しみにしていました。市民から持ち込まれた「ゴミ」が処理場に入り、どのように焼却されるのかを通路から窓越しで拝見させていただきました。15mもの高さがある「ごみピット」にパッカー車からゴミが入れられ、安全を考慮してワンクッションしてから下まで落下するそうです。なにしろ、規模や機械の大きさに驚くとともに、このようなゴミ処理のやり方に納得致しました。

水源地・クリーンセンターを見学させていただき、飲み水・家庭ゴミにも私たち市民は安心して生活することが出来る幸せを感じました。自分の目で色々な所を見て、確認し納得して不安のない安心な松阪市で元気に過ごしたいと思い、此のツアーに参加できてとても良かったです。お世話して下さった方々、有難うございました。



嬉野ふるさと会館



嬉野・考古館



松阪市クリーンセンター

松阪偉人顕彰団体協議会よりのお知らせ

松阪市制 10 周年記念事業の一環として「松阪の偉人たち」の展示を松阪市文化財センター第一～第三ギャラリー室において 8 月 7 日～12 日の間開催しました。

夏休み期間中でもあり、お子様と一緒にご家族で多くの方々に来館いただきました。

※松阪の偉人として展示された人物は、蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、大淀三千風、竹川竹斎、松浦武四郎、大谷嘉兵衛、原田二郎、東畑精一、小津安二郎の 10 人です。

※友の会としては、武四郎の生涯の功績と共に、友の会活動の内容を展示しました。展示期間中に説明等お世話いただいた方々、ありがとうございました。



開会式でのテープカット



武四郎コーナー



お世話して頂いた方々

「茶王 大谷嘉兵衛翁の会」との交流会実施

飯高町の「茶王 大谷嘉兵衛翁の会」との交流会を 7 月 20 日(月)に開催しました。

飯高町から 13 名、友の会から 13 名と松浦武四郎記念館から中野館長が参加し、総勢 27 名で松阪市市民活動センター会議室にて実施しました。

それぞれの会の活動内容の経過や現在の課題について報告された後に意見交換を行いました。

「茶王 大谷嘉兵衛翁の会」からは、大谷嘉兵衛翁の生い立ちや足跡、特にアメリカ大統領と直接会って「関税撤廃」を認めて貰ったことや、大谷橋の建設など、地元に対する多くの功績について説明がありました。

また、会としては嘉兵衛が長く過ごした横浜の会との交流を行うとともに、地元の方々に「ありんこ劇団」を結成し「大谷嘉兵衛翁物語」を上演されるなど一般の方々への活動が深まっています。

武四郎は 393 の和歌を詠んでいますが、友の会としては北海道探索を決意した心境の和歌を刻んだ碑を建立することを念願していたが、昨年 7 月に実現できたこと、武四郎が天満宮に奉納した神鏡を訪ねる研修旅行、エゾヤマザクラの植樹・育成管理等の活動を行っていることなどの説明を行いました。

それぞれの会について深く理解できると共に、今後の活動に大いに参考になりました。

友の会としては今後も他の団体との交流を実施し、お互いに知り合うことによって、他の団体の良さを理解して事業活動に活かしてゆきたいと思っております。



交流会の様子

友の会の活動展示

三雲地域振興局の

ほっとギャラリーでの展示
(7月1日～7月31日)

三雲振興局入口の左側には友の会の活動内容の展示、右側には、今年咲いたエゾヤマザクラの写真展を行いました。



エゾヤマザクラの写真展



ほっとギャラリーでの活動展示

松阪市市民活動センター(9月1日～9月14日)

今回は活動状況の他に、一般の方から寄せられた「エゾヤマザクラ」の写真展もあわせて行い、多くの方々に観ていただきました。

今回は市民活動センターの職員の方に掲示板を作成していただき、入口に設置しました。来場者の評判も良かったです。

この場を借りて、職員の方にお礼申し上げます。



市民活動センターでの展示

【記念館よいのお知らせ】

☆武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

- 11月 8日(日) 10時～ テーマ：武四郎と大久保利通
- 12月 13日(日) 10時～ テーマ：武四郎と岩倉具視
- 1月 10日(日) 10時～ テーマ：武四郎の処世術

※いずれも講師は
山本命主任学芸員

☆企画展示のご案内

- ◆テーマ：好古家 松浦武四郎 11月23日(月)まで
さまざまな古物を収集し、コレクターとしてその名をとどろかせた武四郎の姿を紹介します。
- ◆テーマ：武四郎をめぐる文人たち 11月25日(水)～平成28年1月17日(日)まで
文人としての武四郎の姿と、武四郎と交友のあった文人から武四郎へ贈られた作品を紹介します。
- ◆テーマ：武四郎の涅槃図 1月19日(火)～3月13日(日)
奇妙奇天烈、摩訶不思議な武四郎涅槃図の世界を紹介します。

【友の会よいのお知らせ】

◆会員交流懇談会のお知らせ

12月13日の武四郎講座の後に実施します。
多くの方々の出席及び積極的なご意見・提案をお願いいたします。

◆「さいくう平安の杜フェスタ」のお知らせ

10月24日及び25日に新しく完成した正殿、西脇殿、東脇殿及び周辺にて笙演奏、
口笛コンサート、ミュージカル「倭姫」、ハープ&フルート演奏、機織り体験、放鷹術の実演、
人形劇、ミニ四駆レース、物産展などが行われます。

10月24日には友の会の活動展示も行いますので、多くの皆様の来場を待っています。